

## ディベート活動報告

2011年10月12日

- ・議題 子供を育てるなら田舎か都会か
- ・ディベート形式

肯定側第一立論…3分

否定側第一立論…3分

グループでの話し合い…5分

肯定側反論①…5分

否定側反論①…5分

肯定側反論②…4分

否定側反論②…4分

肯定側第二立論…3分

否定側第二立論…3分

グループでの話し合い…5分

肯定側反論①…5分

否定側反論①…5分

肯定側反論②…4分

否定側反論②…4分

計 58分

### ・論点整理

田舎派	都会派
自然に触れ合うことによって、健康面への配慮。さらに直に自然と触れ合える機会が多いことで、感性面への充実について主張。 また都会より、子供を安全に育てられるということと、親と過ごせる時間の長さなどが子供の成長に大きな役割を果たすのを主張することで田舎の立論をまとめていた。	教育水準の高さ、情報量と交通網の充実などは幼い頃からの社会経験ができ、子供の成長に良い影響を与えると主張。また人口が多いことから、様々な人とも話せる機会が多く、コミュニケーション能力の養成ができることが子供の成長に大きな役割を果たすことを主張することで都会の立論をまとめていた

## 反論

田舎派	都会派
<p>・ 都会の学習環境について(都会派意見) 現代は学力主義ではなくその人が持つ人間性が重要だから、人間性を磨ける田舎のほうが良いし、勉強に関して場所は関係ないと反論。</p> <p>・ 情報と交通網の充実について(都会派意見) 情報選択が未熟な子供に情報量の充実は混乱を招き子供を危険にさらす可能性が高い。都会で一人で電車を使うより、田舎のように親と車で移動するほうが安全かつ親とのコミュニケーションがとれ親子同士の信頼関係も築きやすいと反論。</p>	<p>・ 自然に触れ合うことでの子供の感性の成長について(田舎派意見) 都会でも自然とふれあうイベントが多く開催され、施設の充実度から見れば都会のほうが整っているため、都会でも子供の感性面での成長は期待できると反論。</p> <p>・ 田舎の安全性について(田舎派意見) 事件の多さは都会のほうが多いが人口の割合から見れば差異は見られないため、都会のほうが危険とは言えない。また都会派は事件の対応策やセキュリティーの管理での事故予防は充実していて、田舎よりも安全なのではないかと反論。</p>

## 勝敗

都会派の勝ち。

都会派が田舎でのメリットを都会でも実感できる。あるいは都会のほうが充実しているということを証明できていたから。

## 反省点

個人個人(物的証拠・資料等)での準備不足やグループ内での準備不足(グループ内での時間配分・担当)が目立ってしまった。また、多方面からお互いのメリット・デメリットを討論することで、話の飛躍が見られ議題の主旨にそぐわない討論が展開された。加えて話が長引くと感情論での意見もあった。

## 次回課題

今回は、要点整理を始めそれを裏付ける物的証拠を持つことによって論理的に討論を展開していくことにする。また時間内に主張を端的にまとめることで相手にわかりやすく意見を伝えることを工夫していく。